

生涯學習情報誌

Life Learning

9
2021
Sep.
NO.373



第2回 募集中

生涯学習開発財団 松田妙子賞

Share Your Happiness!

「生涯学習開発財団 松田妙子賞」は、
「生涯学習」の新たな発展に寄与する個人や企業・団体を顕彰し、
その活動内容および「生涯学習」の意義を広く社会に知らしめる目的で、
2020年に創設しました。

松田妙子賞創設の背景



生涯学習開発財団の前理事長 松田妙子は、1983年の財団設立以来約40年近くにわたり、「生涯学習」推進のため、資格認定団体の後援や50歳以上の博士号取得支援など、さまざまな活動を行ってきました。

賞のテーマである「Share Your Happiness」は、大叔父の大森兵蔵、父の松田竹千代を通して松田家に受け継がれてきた「自分が恵まれていると思ったら世の中に恩返しをなさい」というスピリットにもとづいており、松田妙子前理事長が大切にしていた社会貢献の願いが込められています。

松田妙子前理事長は26歳で単身渡米し、帰国後は戦後日本のイメージを回復しようと日本初のPR会社を設立し、日本の住宅品質改善のために日本ホームズや住宅産業研修財団を創設しました。生涯学習開発財団では長寿社会を見越した生き方を提言し、自身も71歳で東京大学博士号（工学）を取得、その研究は大工育成塾創設につながりました。自らが

生涯学習のロールモデルとなり、2019年に亡くなるまで生涯現役を貫きました。

本賞が、松田妙子の「学び続けることが、個人も社会も豊かにする」という意思を受け継ぎ、より良い社会に寄与することを目指しています。

正賞・副賞

正賞：記念品

副賞：賞金100万円

応募方法

指定の申請書による

（財団WEBサイトよりダウンロードできます）

スケジュール

募集締切：2021年10月13日必着

決 定：2021年12月

表 彰 式：2022年1月末予定

締切迫る!
10/13
必着

お問合せと募集要項の請求は下記まで



一般財団法人 生涯学習開発財団 事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館9階 TEL 03-3508-4551

募集要項・申請書は <http://www.gllc.or.jp> E-mail gllc@gllc.or.jp



SDGsで学ぼう！ 世界を楽しく救う アイデアのつくりかた



2021年7月21日 オンライン開催

講師：本田 亮 クリエーター／環境漫画家／国連WFP協会理事

日大芸術学部写真学科卒業。前職は広告代理店のCMプランナーで、数多くのテレビCMを企画制作。現在は自然をテーマにしたクリエイターとして活動中。映像、エッセイ、イラスト、写真など様々な手段で地球の言葉をクリエイティブしている。「エコノザルスの環境マンガ」「サラリーマン転覆隊」「原発先生」「リーフフィッシュ」など多くのシリーズ作品がある。2020年、日本赤十字「ウィルスの次にやって来るもの」動画でも話題となる。国連WFP協会理事、四国お遍路自転車大使も務める。ユーモアイラスト展に感動した中学生の発案から生まれた最新刊「ムスカシそうなSDGsのことがひと目でやさしくわかる本」（小学館）など著書多数。

●共催：青山学院大学 社会情報学部／青山学院大学 学習コミュニティデザイン研究所

●協力：青山学院大学 社会情報学部ワークショップデザイナー育成プログラム事務局

第26回のシンポジウムは、オンライン開催で、70名以上が参加して行われた。

「SDGs ユーモアイラスト展」を全国で巡回し、書籍や動画による発信もしている本田亮氏。「最近よく聞くけど難しそう」「自分とは遠い世界の話」などと思われがちなSDGsを、ユーモアあふれる切り口のイラストで表現し、多くの人を惹き込んでいる。複雑で繊細な情報をわかりやすく人に伝えるポイントとは何なのか。SDGsを学びつつ、そのアイデアの発想法についても語っていただいた。

■崩れゆく地球の声を届けたい

CMプランナーとして「ピッカピカの1年生」（小学館）、「こだまでしようか？」（ABC）など記憶に残る仕事をしてきた氏だが、世界75カ国を回りながら、さまざまな地球の声を聞いたという。特に、1990年のパリ・ダカールラリーに随行した際、赤茶色のサハラ砂漠が続く中、真っ白な砂漠と遭遇した。近づくにつれて膨大な貝殻の集まり。もとは漁師たちもいた豊かな湖で、無残に干上がった姿だった。それが環境問題を訴えるきっかけになった。

「いろんなことをやっていますが、真ん中にあるのは地球です。世界中の人がアメリカ人の生活をするとう地球は4個必要で、日本人の生活なら2・5個必要です。地球の豊かさが砂時計の下から崩れているのに、先進国の人には気づかないふりで崖っぷちの晩餐会をしているのです。僕は人よりたくさん旅をして、たくさん人間の自然破壊を目の当たりにしてきました。地球の叫びをいろんな形にクリエイティブして、多くの人に届けたいと思っています」

■クイズも交えて

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年に国連において全会一致で採択された国際目標。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すというもの。貧困、環境、経済、ジェンダー平等など、地球の課題を網羅した17の目標と細分化した169のターゲットからなる。

「きちんと読むと頭が痛くなる難しいことが書いてあるのですが、それを親しみやすいイラストにしましたので、ご覧いただきながら解説していきたいと思っています」

17の開発目標を、画面共有したイラストを中心に、ときどきクイズもはさみながらの面白い講義が進んだ。クイズの正解率は予想外に高く、参加者のSDGsに対する理解が進んでいることがうかがえた。

■複数のゴールに貢献する優れた活動

「SDGsの理想的な取り組みというのは、複数の課題を並行して解決することだ



3 すべての人に健康と福祉を

ターゲット(3-8) すべての人が保健サービスを受けられ医薬品を安く手に入れられるようにしましょう



12 つくる責任 つかう責任

ターゲット(12-5) 廃棄物の発生防止、削減、再利用により、廃棄物を大幅に減らそう

と思います。たとえば、WFP（国連世界食糧計画）では学校給食プログラムを推進しています。それはゴール②の、子供たちの（飢餓ゼロ）を目指すものですが、学校で給食を出すということは、子供たちの健康状態が改善され、教育レベルの向上にも寄与します。つまり、ゴール③（すべての人に健康と福祉を）と④（質の高い教育をみんなに）も実現するんですね。結果として将来、教育を受けた子供たちの就業機会が増えたり、女性の地位が向上したりということにもつながるので、ゴール⑧（働きがいも経済成長も）、⑩（人や国の不平等をなくそう）にも貢献する。最終的には、大きなテーマであるゴール①（貧困をなくそう）も実現できるという、すばらしい取り組みになるのです」

1 行動予測

行動予測は、「伝えたいことの当事者は誰だろう?」と主人公を見つけ出す方法。主人公もしくは当事者になりきってその行動を予測する。どんな行動をするんだろう、どうやって乗り切るだろう。行動のさらにその先を想像する。先の先を読んで、こんなことがあったら面白いという物語をつくっていくのが、行動予測のやり方だ。

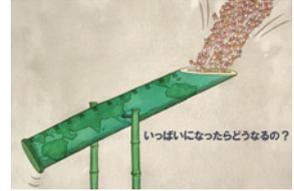
「海面上昇が進んだらイースター島のモアイたちはどうするだろう」と想像した。



2 たとえる

伝えたいことのコンセプトとよく似ている別のモノを探す。多くの人知っているできごとやお話などの中に取り込んでしまう方法だ。同じような別のモノ、簡単で、楽しくて、わかりやすいモノを探すということ。

このまま人口が増え続けたらどうなるのか、地球を鹿威しにたとえて、赤ちゃんがどんどん入って行って満杯になりつつある様子を描いた。



3 時間軸で考える

未来になったらどうなるのだろう? 過去はどうだったのだろう? そこで起きることをビジュアル化する。現在と比較することでインパクトを与える、「時間軸で考える」というやり方。

原始時代には、豊かな森、山、きれいな川があって、人間はボロをまとっているが、現代になると、人間はピカピカに輝いているが、背景の森は酸性雨で枯れ、ゴミの川が流れています。綺麗になったのは人間だけという皮肉。



4 ライバルの視点

ライバルは誰かを想像し、ライバルが加わることで何が起きるか? ライバルはどんな行動をするか? そのセリフと行動でメッセージを際立たせるという方法。

北極の氷面積が減ってイヌイットたちは狩りができなくなる」というメッセージを、ライバルの視点で考える。どんなライバルがいるのか想像したときに生まれたのが「犬ぞりリストラ時代」。それを引く犬のライバルはアザラシなんじゃないかと。



5 キャラクター化

無機質なモノをキャラクター化して言葉を与えることで、意外な主張と行動を表現する方法。「地球温暖化防止について国際会議で何度も話し合われたが、各国の欲が絡み合って具体的進展はなかった」。こういう一見つまらない報道はキャラクター化すると面白くなる。

温暖化の会議だからキャラクターは全部雪だるまに。一生懸命会議をしたが全く決まらず、どんどん溶け出して「温暖化会議タイムオーバー」。



6 常識の破壊

地球の常識を変えてしまう。縦のモノを横に見る、逆さまに見る。動かないものを動かしてみる。ありえないモノやコトをビジュアル化して、スケールの大きなホラ話をするやり方。

「人間の数が78億人を突破。しかし、野生動物の個体数は20年間で40%も減少してしまった」という報道をどう伝えるか。引力が存在してない地球を考えて、動物たちがどんどんどんどん突き落とされていくという「地球おしくら饅頭」を描いた。



■ 本流アイデア創出法

「基本は『楽しそうだなあ』と思うこと。リラックスして、動く、外に出る、歩く。目の前で起こるすべてのことがヒントになります。僕はよく、アイデアノートを持って、電車企画をやります。電車に乗るとどんな風景が変わって、どんな違う人が乗ってくる。見るモノすべてを自分与えられたヒントとして考えるんです。

もうひとつ、1人ブレインストーミングをやります。ブレーキをかけず、ジョークも欠かさず、芋づる式にアイデアを展開させるのです。バカな発想の中に本質やアイデアがよく隠れています。ただし、思いついたアイデアをいったん冷蔵庫に入れること。時間を置いて見直すのです。1日置くと90%はつまらないですから」

■ アイデアが生まれる人になるためには

「アイデアがある人っていうのは、アイデアの引き出しがたくさんある人と、アイデアをすぐに引き出せる人なんです。引き出しは多いけどすぐに引き出せない人もおられます。引き出しをつくるには毎日新しい体験をすること。すぐに引き出すには、何でも面白い心が大切です。このふたつがあることによって、アイデアが生まれる人になれると思っています。」

毎日ひとつ、新しい体験を意識的にやってみましょう。何もなかったら、新しい本をちょっと読むとか、初めてのテレビ番組を見るときかいいんです。体験はアイデアの母、冗談はアイデアの父です」